

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年3月25日（17:00～18:00）
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	名	7名	3名	名	名

前回の改善計画	情報はケアマネに任せてしまっている面が多かった。送迎時など自宅におられる家族と少しでも話しを聞く機会を作るようする。
前回の改善計画に対する取組み結果	初期支援の情報などは家族や本人からだけであり、ケアマネが聞き取りをし、ミーティングや書面を回覧して職員全員で確認しているが初期情報と利用中との情報のずれ等もある為、目標について同じ意識を持てるよう、ずれや違いなどその都度、話し合いをしながらサービスの提供に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	4名	6名	名	名	10名
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3名	5名	2名	名	10名
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	2名	7名	2名	名	10名
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		7名	3名	名	10名

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
情報共有について、口頭だけでなく情報共有アプリや書面で回覧することで、確認がとりやすく、職員全員が分かりやすくなった。また送迎時などに家族や利用者に希望や意向を傾聴し、状態や生活背景がきちんと把握できる事で、初期支援の不安や戸惑いが利用者や家族、職員等とともに軽減している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
今まで介護サービスを利用したことがない方が緊急ショートを利用するときなど、情報が不十分であったり情報共有アプリや書面だけでは情報共有が困難の時がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用前の情報確認はケアマネに任せてしまっている事が多く、サービス利用を始めると事前の情報と違うこともあった。サービス利用後は利用者の状態等送迎時などに家族等に話しを聞きながら情報共有に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年3月25日（17:00～18:00）
------------------	-----	------------------------

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	10名
-----------------------	------	-----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	名	7名	3名	名	名

前回の改善計画	サービスの提供などはケアマネに任せている事が多いため情報提供を確認し、その人の関わりを模索している。利用者の、体調管理や仕草、声掛けの工夫など、個々の思いや関わり方を考える。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用開始時には分からなかった利用者本人の思い等は、日頃の関わりの中から見えたり、日々の変化やちょっとしたお話しの中から気づく事が出来、情報共有も出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	名	4名	6名		10名
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		7名	3名		10名
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		6名	4名		10名
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？		7名	3名		10名

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ケアマネだけが家族からの情報を集めるのではなく、全職員が送迎時などに家族からの傾聴や、利用者との会話の中で、本人の残存能力や、生活環境など把握し、個々の目標や意向をミーティングなどで話し合い、本人の目標達成を目指したサービスの提供に努めた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
認知症の方の希望や要望は毎日違うため、その人の思通りに行かない事もあった。サービスの提供に関して、家族の理解が得られる説明や提案が難しいと感じているが、出来るだけ本人の声を聞き、「～したい」の実現を目指していく。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
サービスの提供に関して、認知症の方の希望や要望は毎日違うため、その人の思通りに行かない事もあり、家族の理解が得られる説明や提案が難しいと感じる。できる限り、利用者本人の表情や言葉、行動などから気づきを見つけていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年3月25日（17:00～18:00）

3. 日常生活の支援

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	名	10名	名	名	名

前回の改善計画	ミーティングなどの時、利用者の以前の暮らしがわかるアセスメント記録や情報に必ず目を通すため、職員個々に情報提供を渡し読み上げて問題などを話す機会を作る。また利用者本人からの言葉や態度などからも気持ちを汲み取るにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎月1回のミーティングや朝の申し送り、アセスメントの情報の確認、また、利用者との会話や、日頃の関わりの中からその方の背景が見えてきたり、小さい事でも問題があれば職員間で情報共有アプリを活用しながら解決に導くやりとりをしながら、利用者の小さな変化にも対応できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	名	6名	4名	名	10名
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	6名	4名	名	名	10名
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	名	6名	4名	名	10名
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	6名	4名	名	名	10名
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	7名	3名	名	名	10名

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者本人の状況について、アセスメントに基づいた、以前の暮らし方、現在の状況、現病歴、既往歴また、かかりつけ医、家族構成、本人・家族の希望や要望、不満に対し即時に共有し、サービスの変更ができています。利用中の体調の変化についても申し送りや、情報共有アプリなどで共有し、家族への連絡や受診につなげている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者本人の自宅での暮らしについて、一人暮らしの方などは、家族が遠方であり、その人の状態を把握していない場合もあるため、職員が、本人との会話の中や様子などで汲み取るようにしているが、認知症で実情がわからない時がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
介護サービス利用前に、地域包括支援センターや社会福祉協議会が関わっている場合は、訪問時の様子を聞いたり、近所に支援者がいる場合は、支援者からも情報を得たりするだけでなく、本人からの言葉や様子などより注視し気持ちを汲み取るようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年3月25日（17:00～18:00）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	10名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1名	4名	3名	2名	10名

前回の改善計画	今の生活をするために必要とされる民生委員との連絡・調整、また地域包括支援センターに必要な応じて相談しながら、利用出来る資源を有効に活用する。
前回の改善計画に対する取り組み結果	地区の民生委員との連絡・調整は介護をしている職員には難しいが、ケアマネを通し、台風の時や、ゴミを出したいという利用者に対し、民生委員や区長に連絡し協力してもらった。また、利用者について、民生委員から問い合わせが入ることもあり情報共有できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	名	4名	4名	2名	10名
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1名	5名	4名	名	10名
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	名	4名	6名	名	10名
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	名	3名	7名	名	10名

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者の状況について把握が難しい時など、民生委員や、地域の方との連絡を密にした。また地域包括支援センターへもその都度情報共有しながら、利用出来る資源は活用した。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
今の暮らしを続けるために必要な民生委員や、隣人・知人などの地域の資源については、協力的な地域もあれば、むずかしい地域もあるので、把握が不十分となっている場合がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
民生委員や地域包括支援センターなどと連携・相談しながら、本人の地域での生活の様子が見える、関係作りと情報共有に努めたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年3月25日（17:00～18:00）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	10名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	7名	2名	1名	名	10名

前回の改善計画	人員配置をしっかりと考え、利用者に安心・安全に過ごしてもらえるよう、地域の資源もしっかり活用出来るように努力していく。
前回の改善計画に対する取り組み結果	人員配置を調整し、急なショートステイなどの受け入れなども、柔軟に調整できた。また、毎月1回のミーティングなどで、職員の質の向上を目指し研修などにも取り組む事ができた。感染症に注意しながら、外部の研修にも参加できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2名	6名	2名	名	10名
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	6名	4名	名	名	10名
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	8名	2名	名	名	10名
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	7名	3名	名	名	10名

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者本人の日々の変化に早めに気づき、職員間で情報共有できた。緊急ショートや訪問なども、柔軟な体制で対応できている。また利用者本人の希望や要望があれば送迎時間を早めたり遅めたりなど柔軟な対応ができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
急な人員配置の変更をすることで、職員が少なくなってしまう日や、休日出勤する職員も出てしまったが、振替で休みを取ることはできた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者に安心・安全に過ごしてもらえるよう、人員配置をしっかりと考え、地域の資源も活用し、多機能性のある柔軟な支援ができるよう努力する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年3月25日（17:00～18:00）

6. 連携・協働

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1名	5名	4名	名	10名

前回の改善計画	利用者は高齢者であり、コロナウイルス感染症などさまざまな感染症の危険もある為、感染予防対策をした上で、外出の機会や、ボランティア等の受け入れを柔軟にしていこう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	感染症に注意しながら、認知症カフェやショッピング・花見など地域の行事に参加できている。ボランティアの受け入れも柔軟にできている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2名	4名	1名	3名	10名
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1名	2名	2名	5名	10名
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2名	1名	名	7名	10名
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	名	5名	1名	4名	10名

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
医療機関や福祉用具貸与事業所との会議や地域包括支援センターなどの会議はケアマネが代表して参加出来ている。また認知症カフェには利用者と一緒に参加したり、町の傑作品展には利用者全員で作品を作り、見学にも行けている。又、年1回の亥の子は2地区から子供達が来てくれている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
感染症の心配から、利用者の家族と一緒に老人会などの催しものができなかった。また子供達とも施設内で過ごす機会はなかったが、亥の子には来てくれている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者は高齢者であり、コロナウイルス感染症などさまざまな感染症の危険もある為、感染予防対策をした上で、外出の機会や、ボランティア等の受け入れ、地区の子供達とも触れ合える機会を作っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年3月25日（17:00～18:00）
7. 運営	メンバー	10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	名	7名	3名	名	10名

前回の改善計画	コロナウイルス感染症も「5類」になり、外出の機会も増えてくると思うので、積極的に地域や行政との、協働した活動などに参加して、多くの意見を聞き、取り入れていくよう努力する。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の行事などは出来るだけ参加できた。全職員の参加は難しかったが、参加した職員からの書面や情報共有アプリで職員間の共有には努めた。地域と協働した取組は難しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	3名	4名	3名	名	10名
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4名	5名	1名	名	10名
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1名	7名	2名	名	10名
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	3名	1名	6名	名	10名

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
毎月のミーティング等を通して、職員間での意見交換や、情報共有などは良く出来ていて、事案にも柔軟に対応できている。また、利用者・家族からの苦情への対応もできている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者や家族からの意見や苦情を頂く機会はあるが、地域からの苦情を聞く機会が少なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域や行政との交流を増やし、多くの意見を聞き、取り入れていく。またショッピングなどの外出などの機会も増やししながら、利用者がどこに行きたいかなど考慮しながら努力する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年3月25日（17:00～18:00）

8. 質を向上するための取組み

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2名	5名	2名	1名	10名

前回の改善計画	今まではリモート研修が多かったが、外部研修に参加し、質の向上に努めた。また他の施設職員との交流を深め意見交換にて勉強の幅を広げていき、利用者が穏やかに過ごせよう努力する。
前回の改善計画に対する取組み結果	外部研修に職員全員が参加することは難しかったが、職場内研修には全員が参加し、利用者には、安心・安全に利用してもらえるよう、いつも笑顔を忘れず接する事に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3名	7名	名	名	10名
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	名	5名	3名	2名	10名
③	地域連絡会に参加していますか	2名	名	1名	7名	10名
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1名	4名	3名	2名	10名

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職場内での研修は、全員が参加する「月1ミーティング・事故防止研修・接遇研修・感染症研修・虐待防止研修」を定期的に行い、特に、虐待防止研修後は毎回「復命書」を書く事で、理解を深め、利用者の安心・安全に繋がっている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
外部研修に職員全員が参加するのは、人員の配置もあり難しく、一部の職員が参加する程度だった。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
感染症などに注意し、外部研修にもできるだけ参加し、質の向上に努める。 感染症の心配もあり、他施設との交流は難しい所もあるが、ズームなどを活用し、出来るだけ意見交換を行いながら、利用者が穏やかに過ごせるよう努力する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年3月25日（17:00～18:00）
9. 人権・プライバシー	メンバー	10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2名	6名	2名	名	10名

前回の改善計画	職員間で利用者の情報共有を行う場合、時々声が大きくなり、他の利用者に聞こえていることがあるため、情報共有するときは、緊急時以外の時は、利用者がいない時に話し合うようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	他の利用者いるときは避けるようにして情報共有は出来ていたと思うが、時々声が大きくなる時があった。情報共有アプリや書面などでのやりとりをして、利用者に聞こえない努力をした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	10名	名	名	名	10名
②	虐待は行われていない	10名	名	名	名	10名
③	プライバシーが守られている	8名	2名	名	名	10名
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3名	名	7名	名	10名
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8名	2名	名	名	10名

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束や虐待など、研修をしている事もあり当然していない。入浴時も1対1であり、プライバシーの保護にも配慮できている。また入浴拒否な方には無理強せず、本人の気が向いた時などに入浴の声掛けを行い、無理なら清拭などで清拭保持に努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見制度については、現在該当する利用者もいないため、職員が制度を知っていることも少ない。また、情報共有を職員の休憩時間にすると、声が大きくなる事がときどきある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職員間で利用者の情報共有を行う場合、なるべく声のトーンを落とす工夫を考えたり、情報共有アプリや書面などを活用する。また利用者のいない時間に話すようにする。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 慈風会	代表者	花房 宏祐	法人・ 事業所 の特徴	当法人は障害者支援施設、介護老人福祉施設（通所介護、グループホーム併設）、小規模多機能型居宅介護施設の3施設を運営しており、地域福祉の拠点施設を担うべく、サービスの向上、職員の質の向上に努めています。 また当事業所は奈良市の指定管理を受け、地域包括システムの一翼として、介護サービスの提供はもとより、奈良市通所付添サポート事業の中核として入浴の場を提供しています。
事業所名	奈義つくし園	管理者	須江 みどり		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	6人	人	人	人	人	2人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	前回の改善計画では具体的な取組を月ごとではなく、その都度問題があれば話し合いをしなから取り組めた。	毎月のミーティングや臨時の会議などで問題点などを話し合い、意見を集約し改善に取り組んだ。	事業所全体でサービスの向上に取り組んでおり、その結果が利用実績に如実に表れている。	感染症等も落ち着き、職場外での研修等にも参加出来た。今回もサービスや職員の質の向上、又資格の取得に取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染症等に注意しながら、地域の行事・サロン等参加出来ている。事業所のしつらえ・環境について説明する機会を増やす。	感染症もコロナだけではなく色々な感染症があるが、対策等注意しながら行事等に参加し取組をして行く。	各地区の方とのふれあいはない。あまり出来ていない。今後も感染症に注意をし、地域の方々とふれあう機会を少しでも作ってほしい。	感染症の事を視野に入れながら、気軽に入りやすい環境を作り、明るく、元気で快適で安全な利用環境を作る。
C. 事業所と地域のかかわり	積極的に地域包括支援センター等の関係機関との連携は出来ている。地域との関わりを今後増やしていく。	地域包括支援センターや社協、医療機関など地域の関係機関とは良好な関係が築けている。	感染症に注意しながら外出の機会を増やし、出来るだけ地域の行事や防災訓練などにも参加して欲しい。	地域住民との関わりを持つため、町の作品展やバラ園見学・また、ショピングなどを通じた交流を計画している。
D. 地域に向いて 本人の暮らしを 支える取組み	各地区の民生委員の方と計画的に連携して話し合いの場を作っていく。	事業所、民生委員との時間的な調整も難しく、あまりできていないかった。	民生委員だけではなく、近所の方や地区長そして、家族からの話に傾聴し暮らしを支える取組をする。	住み慣れた地域での暮らしが継続出来るよう、個々の利用者に応じた交流を計画している。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で出た貴重な意見等の改善に繋げるよう、努力していく。	運営推進会議での意見などは、事業所の運営や利用者などの対応に反映できた。また役員の方とのコミュニケーションを深める事が出来た。	事業所の運営についてはわからないが、委員の声は地元の声として聞いてもらえていると思うし、改善にも繋げて欲しい。	会議において地域の行事や情報などを教えて頂き、地域との関わりに役立つようにしていく。

F. 事業所の 防災・災害対策	防災計画書を作成し、年二回以上 は実行する。	防災計画書は火災のみの避難訓練にとどまっていたがBCPの 自然災害など訓練の中に入れ取 り組めた。	いままです地震や水害等による大 きな被害は発生していないが、利 用者の安全のために、いろいろな 想定した防災対策をしてもらい たい。	BCPの自然災害計画書の作成 に伴い職員や利用者等を取り組 めた。町が主催する防災訓練には 参加が難しい事もあるが機会が あれば参加していく。
----------------------------	-----------------------------------	--	---	--